



# 鶏 けいめい 鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## パウロの言葉

「管理者に要求されるのは忠実であることです」聖書(第1コリント書4章2節)

牧師 河合裕志

古代ローマの時代、資産家の主人は配下の者の中から信任に足る者を選んでこれに主人の財産や召使達を管理させた。財産が減らないように、増えるように、召使がキッチンとその職務を果すように目を配らせた。管理の仕事を任された者は主人の厚い信頼に応えようとゆめ怠ることなくこれに精励。

イエスも管理人について述べている。「主人が召使達の上に立てて、時間どおりに食べ物を分配させることにした忠実で賢い管理人は、いったいだれであろうか」(ルカ12・42)。しかしその話ではこの管理人は「下男や女中を殴ったり、食べたり飲んだり、酔うことに」なって主人より「ひどく鞭打たれる」に至る。主人の言付けに忠実でなかった。

これは今日でも通用するかも。社長より部長とか課長とかの管理職に任命される。ところが部下に対して暴力をふるう、あるいはパワハラ、セクハラを行う、更には過重労働を強いる、こういうことでは管理者失格ということに。

ところで今パウロの場合、何を任されたのだろう。この前のところでこう記している。「人はわたしたちをキリストに仕える者、神の秘められた計画をゆだねられた管理者と考えるべきです」。どうも財産とか部下を

管理するよというのとは大分趣が異なる。キリストなり神なりが主人ということはある。しかし「神の秘められた計画」がピンとこない。

これは前の「口語訳」では「神の奥義」と訳されていた。「秘められた計画」これは元のギリシャ語ではミステリオン、英語のミステリイ、秘密。その内容は一体何なのか。それは「福音」のこと。そしてパウロに即して言えば「十字架につけられたキリスト」のこと。これが何よりも福音。それがミステリイというのは、それが誰にでもすぐに福音だとはわからないこと。それこそは「秘められた計画」だから。

それが明らかになるとは、キリストを十字架につけることは神の救済の計画だとわかること。実に私の罪の身代わりとしてキリストは十字架につき、罪の赦しと永遠の命をもたらしてくれたとわかること。

この「神の秘められた計画」を一人でも多くの人々にわかってもらえるように伝道する、倦まずたゆまず。これが福音という財産を託された者の、神とキリストへの「忠実」ということになる。

### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

求道者会：日曜日午前9時40分

中高青年会：日曜日礼拝後

お話し会、卓球：水曜日午後1時～7時

お祈り会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時